

【優しい絵手紙「紫会」よりお知らせ】

絵手紙の展示を行います。

■ 勤労文化会館 まちかどギャラリー

11月1日～30日 (休館日除く)

■ 茶房ギャラリー 鬼無里 (きなさ)

12月10日～20日 (15・16日除く)

優しい絵手紙「紫会」

感性と個性を表す「紫」、描く人も受け取る人も優しい気持ちになってほしいという願いを団体名にこめた絵手紙サークル。毎月第3土曜日午後1時～5時に活動。会員は自由に活動できる。絵手紙の発表の場として、ふれあいプラザ祭、まちかどギャラリー等がある。

定期利用団体紹介



楽しみながら、自分だけの1枚を描く



■ インタビュー  
優しい絵手紙  
「紫会」講師  
谷川 泉さん



中部公民館の会議室3で活動しています。静かな環境の中で、集中して絵手紙を書くことができます。活動では、身の回りのもの等を題材に作品を描き、色彩や表現の技法を伝えています。

この会は、楽しむこと、好きな絵手紙を書けるようになること、自由に活動できることを大事に活動しています。絵手紙は、どんな表現もその人だけの1枚につながるのが魅力。何歳からでも始められます。これからも、和気あいあいと共に学びながら、活動していきたいです。



①活動開始のきっかけ②活動中の楽しいこと

会員インタビュー

福田 弥生さん 活動歴 約3年

①高齢者ハガキ交流ボランティア「ひまわり」で描く、ハガキの表現方法を広げるため。講師と知り合いだった。

②会員同士で作品を共有したり、何気ない話をするのが楽しい。

坂野 尚美さん 活動歴 約2年半

①勤労文化会館での展示を見たから。母がやっていて、もともと興味があった。

②雑談を交え、作品や技法を共有するのが楽しい。自由度が高いことも嬉しい。



福田さん

坂野さん